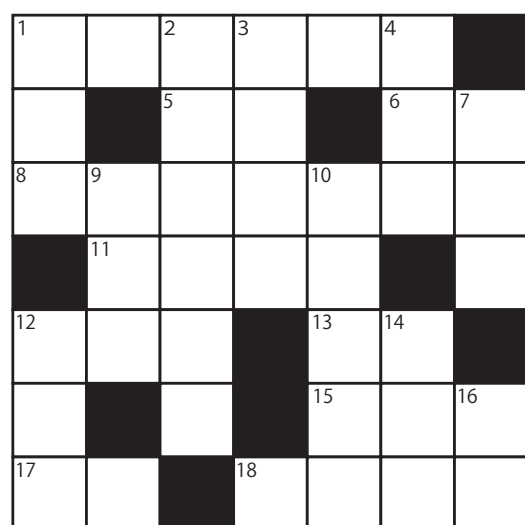


カギをヒントに空欄を埋めて
クロスワードを完成させましょう



横のカギ

1. 塗り残しや小さな傷を補修すること
5. 衣服の首もとを囲む布部分
6. 塗膜にあるとピンホールと呼ばれる
8. 塵やホコリを極力減らした部屋
11. 2/11は何記念日?
12. 会話や試合で向かい合う人
13. キライの反対
15. 品質や安全を確認するための調査
17. SNS等でメッセージに対して送る返信
18. 切符やICカードをかざす場所

縦のカギ

1. スカートやシャツにある「ひだ」や「折り目」
2. 個人店ではなく、系列で全国に広がるお店
3. 小さいけど昆虫界屈指の力持ちで、働き者の集団
4. リッチの反対
7. 「おひたし」に似た韓国の副菜
9. 文系の反対で、数学や科学を中心に学ぶ
10. 照明の明るさを測る道具
12. ランプや照明のこと
14. スポーツや選挙で、点数や票の差が小さいこと
16. 本を数える単位

色評価の精度向上へ：標準光源装置『Judge LED』を導入

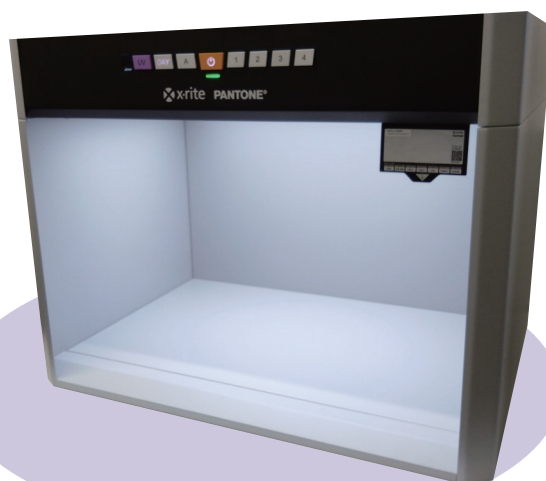
この度、エックスライト社の『Judge LED』を導入しました。

JIS(日本工業規格)にも記載されているように、塗料の色評価はD65光源(昼光)で行うことが一般的です。光源が統一されていないと、前号のSANOH NEWSでご紹介したように、同じ色でもメタメリズムの影響等で見え方が異なってしまう場合があります。

『Judge LED』は、LED光源によってより正確な色評価を行うための装置で、D65光源やA光源(白熱照明)をはじめ、計7種類の光源を再現できます。

近い将来、蛍光灯の生産が終了しLEDライトが主流になっていく中で、この装置を導入したことで蛍光灯からLEDへの移行がスムーズに行え、今まで以上に社内での色評価を厳密に行えるようになりました。お客さまにご依頼いただいた色を、使用環境に合わせた光源のもとで正確に評価し、より高い品質でお届けできることでますますお役に立てると思います。

x-rite PANTONE®



訂正とお詫び 前号Vol.26の記事「色違って何？」におきまして、図2の説明で「-a方向にずれて元色より赤いのか」とありましたが、正しくは「+a方向にずれて元色より赤いのか」でした。同じく図2内も「①△a=マイナスの値」ではなく正しくは「①△a=プラスの値」です。訂正しお詫び申し上げます。

編集後記 SANOH NEWSをご覧いただきありがとうございます。編集長です。今号のテーマカラーは「紫苑色」で、その名の通り秋ごろに咲く紫苑の花の色です。かくれんぼはどこかに双葉があります。ぜひ探してみてください。

塗料・塗装資材の総合商社
小ロット溶剤調色 小ロット粉体製造
塗装機器・設備のコーディネート

化学で人と自然の共生する明日へ

www.san-oh-web.co.jp

✉ info@san-oh-web.co.jp



株式会社 三王

本社 〒110-0001 東京都台東区谷中2-6-29

TEL: 03-5842-1921 FAX: 03-5842-1920

埼玉支店 〒340-0013 埼玉県草加市松江6-4-34

TEL: 048-936-4981 FAX: 048-931-8570

粉体事業所 〒340-0004 埼玉県草加市弁天4-17-18

TEL: 048-931-2001 FAX: 048-931-2141

SN-2025-10-027

PAINT
COATING
EQUIPMENT

SANOH NEWS
Paint & Coating Information

秋

Vol.27

2025.10

いつもお世話になっております。三王です。
SANOH NEWS Vol.27 をご覧いただきありがとうございます。
本号のメインは「IPCO 新理事長へのインタビュー」です。
たくさんの使える情報をお届けしますのでよろしくお願いします！

Vol.27
主な内容

セールの紹介 …新商品の粉体塗装機をピックアップ
IPCO 新理事長へ …当社代表高橋大が就任、独占インタビュー
色評価の精度向上 …標準光源装置『Judge LED』を導入

メンテナンスのすすめ

塗装機器、コンプレッサー、乾燥炉などの突然の故障に備え、定期的にメンテナンスを実施しましょう！
炉内温度の測定なども、セール価格にてご対応いたします。

新商品

Sprint 2

マニュアル粉体塗装機

WAGNER

完璧な仕上がりを素早く簡単に実現。
新しいコンポーネントやアシスト機能により、
塗装や色替えにおける効率と品質を向上させます。
コントロールユニットも一新しました。



Binks LUNA III



年末に向けて
床塗料・スプレーガン等も
お勧めです！



conall

conall Tone

SANOH



Conallshot

MaSty co., Ltd

「お客さまには塗装の付加価値向上に集中してもらいたい」

一般社団法人国際工業塗装高度化推進会議（IPCO）の新理事長、高橋大へ独占インタビュー

この7月、当社代表取締役 高橋大が、一般社団法人 国際工業塗装高度化推進会議（IPCO）の新理事長に就任しました。環境問題や人手不足といった業界の大きな課題に、どう向き合っていくのか。新理事長としての想いをききました。

業界全体で連携し、課題解決に取り組む

「IPCO のスタートは 2007 年の VOC 規制問題からでした」と新理事長は振り返ります。当時はリーマンショックで需要が落ち込み、結果的に塗料使用量も減少。色々取り組んだものの、結果として「なんとなく過ごしちゃった」と笑いますが、環境問題への取り組みは今も業界にとって大きなテーマです。

現在の IPCO には、日本パウダーコーティング協同組合、日本塗装機械工業会、日本工業塗装協同組合連合会の 3 団体が参加。さらに専門家や研究機関、東京都や埼玉県、経済産業省とも定期的に情報交換を行っています。



「環境問題は簡単に答えが出るものではありません。塗装の現場、塗料メーカー、設備メーカー、流通、それぞれの立場を理解し合いながら率直に話し合っていくことが大事なんです」と語ります。

こうした想いを形にしたのが、今年 6 月に完成した「工業塗装 CO₂ 排出削減チェックリスト」と「工業塗装 CO₂ 排出削減ガイドンスブック」。新たに日本塗料工業会にも協力をお願いし、「コーティング・コンソーシアム (CoCo)」という枠組みで開発されました。

「今は『何もしていません』では済まされない時代です。小さなことでも『うちはこういうことをやっていますよ』と示せるだけで大きな違いになります」と力を込めます。

人手不足への対応は「まず話し合うこと」から

もう一つの大きな課題が労働力減少です。IPCO では今期から塗装会社 3 社を新たに会員に迎え、取り組み事例を共有する場をつくっています。

「外国人の採用、高齢者や女性の活躍、ロボット導入、そして社員が辞めないような職場環境づくり。やれることは本当に幅広いんです。だからこそ、まずは気軽に話し合ってもらうことが大切だと思います」懇親会などで情報交換を行い、成功も失敗も含めた知見を業界全体で共有していくことを目指しています。



お客さまへの情報提供をもっと身近に

IPCO で得た最新情報は、「SANOH NEWS」などを通じてお客さまにいち早くお届けしています。新しい技術や製品についても社内やお客さまにご協力いただき検証を行い、その結果を共有。新製品の導入なども実際に試し、その知見をお伝えしています。「三王には業界の新しい情報がいち早く届きます。玉石混交ですが、有益な情報であればみなさまに積極的に情報発信し、お役立ていただきたいと思います」と語ります。



設計者向け講座で業界の底上げを

さらに昨年からは高度ポリテクセンター様の「機械設計に生かす工業塗装技術」という設計者向け講座を受託し運営をスタートしました。塗装を発注する設計者が塗装の基礎知識を学ぶことで、現場が抱える無理な仕様や調整負担を減らすことが狙いです。「設計者が塗装を知らないために、現場にしわ寄せがいくことがあります。発注側が理解を深めることで、業界全体の効率が上がると思っています」と話します。

「塗装の付加価値」に集中できる環境を

最後に、理事長としての想いをこう語ります。「塗装業界は環境問題や人手不足など、正直に言えば気が滅入るような課題がたくさんあります。でも、塗装は製品を美しく仕上げ、人を元気にする力を持っています。だからこそ、皆さんにはプラスの面を意識していただきたいんです」「私たち IPCO が課題解決を後押しし、お客さまには『塗装の付加価値を高めること』に集中していただける環境を整える。それが私の理想です」ご意見やご要望などありましたらどンドン理事会にお聞かせください。IPCO へのご参加、ご加入もお待ちしております。



環境への取り組み、まず何から始めますか？

「何もやってないわけにはいかない時代。でも何から手をつければいいのか分からない」そんな声にお応えするツールが完成しました。

IPCO が今年 6 月に完成させた「工業塗装 CO₂ 排出削減チェックリスト」は、塗装工場での環境への取り組み状況を約 130 項目でチェックできるもの。Web 上で入力すると診断結果がすぐに表示され、結果が一目で分かり、日々の取り組みを見直すきっかけとしてご活用いただけます。

併せて作成された「工業塗装 CO₂ 排出削減ガイドンスブック」には、チェックリスト項目に対応する具体的な改善策や設備・技術を工程別に掲載しています。

「どうすればいいか」が具体的に分かる実用的な内容です。

大手企業が環境への取り組みを重視する中、何らかの対応が求められる時代に、まず

現状把握から始めませんか？ぜひ日々の業務の中でご活用いただき、次の一步を踏み出すきっかけとしていただければ幸いです。

Web 版は途中保存ができないため、まずは PDF 版をダウンロード・印刷して下書きを作成してからの入力がおすすです。無料でどなたでもチェックができますので、ぜひ挑戦してみてください。

詳しくは IPCO のホームページをご確認いただくか、担当者までお気軽にお声がけください。左の QR コードから「工業塗装 CO₂ 排出削減チェックリスト」のページへ直接アクセスできます。

工業塗装CO₂排出削減ガイドンスブック

工業塗装 CO₂ 排出削減チェックリスト

コーティング・コンソーシアムでは、温室効果ガス（炭素としてCO₂）排出削減に取り組むためのチェックリストを作成いたしました。ご活用いただければ幸いです。このチェックリストの活用をWebサイトに入力いただくことで、貴社のCO₂排出削減の取り組みの診断結果を無料でお届けします。診断する際は、『5 実施状況を確認』『4 実施計画を策定』『3 実施計画を策定』『2 検討中』『1 未着手』より選択してください。なお、チェックリスト中のQRコードから各項目の詳細な解説を見ることができます。

A. CO₂排出状況の把握
地球温暖化防止のために各産業界が温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。工業塗装工場においても二酸化炭素(CO₂)の排出削減を推進するために、現状のCO₂排出量の把握が必要です。チェックリストに沿って、貴社のCO₂排出状況を確認しましょう。

1. 塗装工場全体	2. 塗装工場全体	3. 塗装工場全体
1-1 燃料方式と燃料に伴うCO ₂ 排出	001 燃料方式と燃料に伴うCO ₂ 排出	001 燃料方式と燃料に伴うCO ₂ 排出
002 燃料ガスの年間使用量	002 燃料ガスの年間使用量	002 燃料ガスの年間使用量
003 使用している燃料ガス（都市ガス、LPガスなど）のCO ₂ 排出係数	003 使用している燃料ガス（都市ガス、LPガスなど）のCO ₂ 排出係数	003 使用している燃料ガス（都市ガス、LPガスなど）のCO ₂ 排出係数
1-2 電気消費に伴うCO ₂ 排出	004 電気消費に伴うCO ₂ 排出	004 電気消費に伴うCO ₂ 排出
005 使用している電気のCO ₂ 排出係数	005 使用している電気のCO ₂ 排出係数	005 使用している電気のCO ₂ 排出係数
006 電気消費に伴うCO ₂ 排出量	006 電気消費に伴うCO ₂ 排出量	006 電気消費に伴うCO ₂ 排出量
1-3 水道水消費に伴うCO ₂ 排出	007 水道水消費に伴うCO ₂ 排出	007 水道水消費に伴うCO ₂ 排出
008 水道水の年間使用量	008 水道水の年間使用量	008 水道水の年間使用量
009 水道水消費に伴うCO ₂ 排出係数	009 水道水消費に伴うCO ₂ 排出係数	009 水道水消費に伴うCO ₂ 排出係数

IPCO 一般社団法人
国際工業塗装高度化推進会議
International Promoting Council of Industrial Coating Association



IPCO（一般社団法人工業塗装高度化推進会議）は、18 年以上にわたり工業塗装業界の課題解決や技術向上を支えてきた団体です。主な功績として、国の事業であるサポーティングインダストリー（戦略的基盤技術高度化支援事業）への「塗装」分野認定のための働きかけを行い、塗装技術の戦略的価値を国に認めさせました。IPCO カンファレンスの開催、コーティングジャパンでの情報発信など、多角的な活動を展開しています。